

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年12月18日 (2008.12.18)

【公表番号】特表2008-519564(P2008-519564A)

【公表日】平成20年6月5日 (2008.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2008-022

【出願番号】特願2007-540352(P2007-540352)

【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/36 (2006.01)

H 0 4 Q 7/22 (2006.01)

H 0 4 Q 7/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 4 A

H 0 4 B 7/26 1 0 5 D

H 0 4 Q 7/04 J

H 0 4 Q 7/04 K

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月28日 (2008.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレスネットワーク内のハンドオーバを管理するハンドオーバ管理プレーンであって、

モバイルインターネットプロトコル (I P) 部と、

前記ワイヤレスネットワークのタイプに特有のハンドオーバサブレイヤと、

前記ワイヤレスネットワークのタイプに特有のメディア独立ハンドオーバ (M I H) 下層収束機能 (L L C F) と、

M I H ハンドオーバ機能と、

M I H 上層収束機能と

を具備したことを特徴とするハンドオーバ管理プレーン。

【請求項 2】

サービスアクセスポイント (S A P) - メディアアクセス制御層インターフェースと、

S A P - 物理層インターフェースと

をさら具備、

前記 S A P インターフェースは、前記ハンドオーバサブレイヤと M I H 管理プレーンとの間の通信を可能にすることを特徴とする請求項 1 記載のハンドオーバ管理プレーン。

【請求項 3】

前記ハンドオーバサブレイヤは、前記ネットワーク内のハンドオーバを実施するように構成されることを特徴とする請求項 1 記載のハンドオーバ管理プレーン。

【請求項 4】

前記ハンドオーバサブレイヤは、サブネットワーク間のハンドオーバを実施するように構成され、前記ハンドオーバサブレイヤは、前記ハンドオーバを実行するように前記モバイル I P 部にシグナリングすることを特徴とする請求項 1 記載のハンドオーバ管理プレーン。

【請求項 5】

前記ハンドオーバーサブレイヤは、異なる技術間のハンドオーバーを実施するように構成され、前記ハンドオーバーサブレイヤは、前記ハンドオーバーを実行するように前記 L L C F にシグナリングすることを特徴とする請求項 1 記載のハンドオーバー管理プレーン。

【請求項 6】

アクセスゲートウェイであって、

無線アクセスゲートウェイと、

メディア独立ハンドオーバーを実施するように構成され、前記無線アクセスゲートウェイと通信するメディア独立ハンドオーバー (M I H) アクセスゲートウェイとを具えたことを特徴とするアクセスゲートウェイ。

【請求項 7】

当該アクセスゲートウェイは、 A インターフェースを介して基地局と通信することを特徴とする請求項 6 記載のアクセスゲートウェイ。

【請求項 8】

前記無線アクセスゲートウェイは、サービスアクセスポイントインターフェースを介して前記 M I H アクセスゲートウェイと通信することを特徴とする請求項 6 記載のアクセスゲートウェイ。

【請求項 9】

当該アクセスゲートウェイは、 I - C N インターフェースを介して前記コアネットワークと通信することを特徴とする請求項 6 記載のアクセスゲートウェイ。

【請求項 10】

当該アクセスゲートウェイは、 A G インターフェースを介して別のアクセスゲートウェイと通信するように構成されることを特徴とする請求項 6 記載のアクセスゲートウェイ。

【請求項 11】

基地局であって、

メディアアクセス制御 (M A C) および物理層装置と、

前記 M A C および物理層装置と通信するように構成された無線アクセスゲートウェイと、

メディア独立ハンドオーバーを実施するように構成されたメディア独立ハンドオーバー (M I H) アクセスゲートウェイであって、前記無線アクセスゲートウェイと通信する M I H アクセスゲートウェイとを具えたことを特徴とする基地局。

【請求項 12】

当該基地局は、 U インターフェースを介して局と通信することを特徴とする請求項 11 記載の基地局。

【請求項 13】

前記 M A C および物理層装置は、サービスアクセスポイントインターフェースを介して前記無線アクセスゲートウェイと通信することを特徴とする請求項 11 記載の基地局。

【請求項 14】

前記無線アクセスゲートウェイは、サービスアクセスポイントインターフェースを介して前記 M I H アクセスゲートウェイと通信することを特徴とする請求項 11 記載の基地局。

【請求項 15】

当該基地局は、 I - C N インターフェースを介して前記コアネットワークと通信することを特徴とする請求項 11 記載の基地局。

【請求項 16】

ワイヤレスネットワーク内のハンドオーバーを管理する方法であって、

測定値およびハンドオーバトリガを送信するように、ネットワークタイプ - 特有メディアアクセス制御および物理層を構成するステップと、

前記ハンドオーバトリガを、ネットワークタイプ - 特有収束機能に送信するステップと

、

前記ネットワークタイプ - 特有収束機能を介して、メディア独立ハンドオーバー機能と通信するステップと
を具えたことを特徴とする方法。